

## 令和3年第4回田原市教育委員会定例会

- 1 開会 令和3年4月16日 午後1時30分
- 2 閉会 令和3年4月16日 午後3時32分
- 3 会議に出席した委員  
鈴木欽也教育長、高崎佐智江教育長職務代理者、金田真也委員  
太田孝雄委員、天野千栄子委員
- 4 会議に欠席した委員
- 5 会議に出席した職員  
教育部長 増山禎之  
教育総務課長 大羽浩和  
学校教育課長 近藤智彦  
生涯学習課長 山田正勝  
スポーツ課長 粕谷幸充  
文化財課長 天野敏規  
図書館長 是住久美子  
生涯学習課主幹 太田征樹  
教育総務課係長 彦坂幸子
- 6 議事日程  
別紙のとおり

田原市教育委員会第4回定例会議事日程

日 時 令和3年4月16日(金)

午後1時30分

場 所 北庁舎2階 200会議室

- 1 会議録署名者の指名
  
- 2 教育長報告事項
  
- 3 報告事項
  - (1) 教育委員連絡報告事項
  - (2) 令和3年度教育方針について
  - (3) 教育委員会令和2年度共催・後援事業について
  - (4) 令和3年度の主なイベントについて
  
- 4 その他

開 会 午後 1 時30分

教育長

それでは、時間より少し前ですが皆さんお揃いですので、始めさせていただきますと思います。

本日は、ご多用のところ、ご出席くださいます、ありがとうございます。

ただいまの出席者は、5名であります。定足数に達しておりますので、令和3年田原市教育委員会第4回定例会は成立いたしました。

これより開会いたします。

教育長

それでは、会議規則第13条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。今回の署名者として、高崎委員と金田委員のご両名を指名させていただきますのでよろしく願いいたします。

教育長

それでは議題に先立ち、教育長報告を私のほうからさせていただきます。

前回、3月12日の第3回定例会以後のことにつきまして、報告させていただきますと思います。

3月13日、泉中学校閉校記念式典が開催されました。

参加者、来賓の数を絞った上での開催でありましたが、予定どおり開催することができました。私も壇上で、校長から校旗を返納していただくのを受け取るという大きな役をやらせていただいて、74年間の歴史の重みというのをとても感じた式でございました。

式典の後、実行委員会主催による様々なイベントが開催されて、そちらのほうは人数制限等を特になしにしていなかったものですから、学校内のいろいろなところへ参加者の方が訪れて、昔を懐かしんだり、久しぶりに会う人と旧好を温めたり、そんなほのぼのとした姿を見ることができました。卒業生の大人の方たちは、思い出に浸ったり、感慨にふけるような姿が多く見られたのですが、中学生の子ども達は、そういった気持ちとともに、4月からの新しい赤羽根中学校の生活を頑張るんだという、将来に向けての思いも持っているような姿も見ることができました。

泉中学校から赤羽根中学校に行った子ども達については、この4月からバス通学が始まっているわけですが、今のところ特にトラブルもなく、順調にバス通学がなされているというように聞いております。何とか早く新しい中学校で慣れて、新生赤羽根中学生として、泉の子たちも元気いっぱい活動できるといいなと思います。

3月18日、総合教育会議を開催し、総合教育大綱・教育振興基本計画を承認していただきました。

3月19日、田原市内の小学校18校の卒業式が、予定どおり行われました。私は田原中部小学校のほうへ出席してまいりました。コロナ対策で縮小した形ではありましたが、それほど通常の式と変わらないような形で、式典ができたかなというように感じております。

3月25日、新規採用教職員の2次面談。田原市に4月から新しく入ってくる教職員へ、教育長からの話や、各学校長とのここで初めて出会いがあるものです。17名の新規採用教職員が、4月1日から頑張っております。

3月31日と4月1日、年度の切り替わりということで、様々な辞令交付式等が開催されました。教育委員の皆さん方にも両日ご出席いただきありがとうございました。

退職教職員につきましては、定年退職者が16名いることで、長年頑張ってきた思いが、その表情に現れていたのかなと思い、その労をねぎらいたいというように思いました。

4月1日は、私自身が花井前教育長から引き継いだ残任期が1年で終わり、新たに再任されたということで、教育長就任式を市役所のほうでやっていただきました。また新しい、2期目に入りましたので、これからもよろしくお願ひしたいと思います。

教育委員会事務局の職員辞令交付式がその後行われまして、教育委員会各課の仕事につきましては、私の話の中で人づくりであるということをお話しさせていただきました。市の行政の中でも、人づくりというのは、やはり未来につながる非常に重要なことであると、そのように本当に思っております。重い責任を持ちながら進めていきたいというように考えておりますし、職員の皆さんにもそういうことをお願ひした次第でございます。

その後の教職員発令通知式につきましては、昨年ほどではないですが今年も管理職の異動が比較的多かった年で、昇任者も含めて校長、教頭で15名、教務主任、校務主任で21名の異動ということで、学校の中核をなす職員が非常に多く入れ替わったということで、各学校新しい体制で、学校の改革に積極的に取り組んでほしいというようなことでお話しをさせていただきました。

4月6日が市内の小学校の入学式、翌7日が市内の中学校の入学式ということで、こちらも規模は縮小して、気をつけながら予定どおりを実施できました。小学校18校、中学校は今年度から4校の体制ということで、22校で新たなスタートを切りました。

4月7日、東三河教育委員代表者会議が東三河県庁で開催され、高崎委員さんと参加してまいりました。

県教委の施策や動向、東三河地区の現状の説明等がございました。それに加えて8市町村の情報交換等が行われて、連携をして今年も市

町村で進めていこうという会でございました。

4月10日、田原市少年少女発明クラブ開校式。今年は、新型コロナウイルス感染症の状況がまだ収まってはいませんが、何とかそれでもスタートを切ることができて、ちょっとほっとしています。市内の5、6年生34名の子が参加してくれて、1年間楽しみながら活動してもらえるといいなと思います。

4月12日、東三河管内小中学校長会議がライフポート豊橋で開催されました。この会議は昨年開催できなかったのですが、ライフポート豊橋の大きな会場を使って、密を避けてという形で、今年は何とか開催ができました。

本日4月16日、田原市教育委員会定例会ということで、お集まりいただいております。

昨年の今の時期は、学校の臨時休業をはじめ、教育委員会教育部関係の様々な事業や催しが、ほとんど中止となっております。それを思えば本年度は、先ほどの発明クラブもそうですが、多くのことが何とかスタートすることができております。それを少し喜ぶたいなというように考えております。

新型コロナウイルス感染症は、現在また心配な状況になりつつあるのですが、それでも何とか今の工夫しながら開催をしていくという、その状況を何とか維持していけるように各方面で力を合わせて頑張っていきたいなというように考えております。

私からの報告は以上とさせていただきます。

何か、今の報告につきましてご質問等ありますでしょうか。

特にないようですので、教育長報告事項を終わります。

教育長

続いて、報告事項に入りたいと思います。

では、教育委員の皆様方の連絡報告事項を順次お願いいたします。

高崎委員からお願いいたします。

高崎委員

先ほど教育長さんがおっしゃっていた行事の中で私、5日間参加させていただきました。

3月18日、田原市総合教育会議に参加させていただきました。ふるさと学習の推進をおっしゃっていたのですけれども、そのときに思ったことは、ふるさと学習を進めるにあたって、歴史を学ぶ場があるといいなということを思いました。その後に、博物館でふるさとの歴史を学ぶ場をつくられるということで、すごくいいことをされるなと思いました。

あと、私が思い出したことを1つ申し上げたいと思います。

もう亡くなられてしまったのですけれども、ミャンマーの日本人学校の先生をされていらっしゃった方が、豊橋の方たちと一緒に豊橋の

中央図書館で田原のふるさとの歴史の民話の展示をされたことがありまして、拝見したことがあります。それを小学校の読み聞かせをした際に、紙芝居にしたりしてお子さんに読ませていただいたりもしたのですが、その中の1つに徳川家康が幼少の頃、田原に来ていたということがありました。恥ずかしながら私、存じ上げなかったのですが、こういったことを通して、例えば、よその市と連携をできたりとか、経済効果を生むようなことも出てくるかなということをおもいましたので、教育委員会の皆様とは違う方がいらっしゃる場所で発言ができればよかったかなと反省をいたしました。

次に、3月19日、大草小学校の卒業式に参加させていただきました。とてもアットホームで、時間よりも前に到着したのですけれども、校門にお父様の姿をたくさん拝見いたしました。

校長先生がお子さんたちに対して、2つのことをおっしゃいました。希望を持ってくださいということと、仲間を大切にということでした。その中で「これからの人生、いいことばかりではない、厳しいこともあるけれども、仲間を大切に。そして、希望を持って生きてください」ということだったのですが、そのときに感じましたのは、最近ほめて育てようということをよくおっしゃるのですが、校長先生が皆さんの前で、いいことばかりではないよ、その裏側もあるんだよということをおっしゃったことがよかったかなと思っております。

3月31日、退職教職員辞令交付式に参加させていただきました。

とてもお世話になった先生方が退職されるのは、昨年も思いましたけれども、力のある先生方が退職されるのにあたって、とてもさみしい思いと、もったいないなという気持ちでいっぱいでした。

4月1日、教育委員会管理職顔合わせに参加させていただきました。

その後、教職員発令通知式に参加させていただき、末娘と同じ年のお子さんが、もう新しく先生としてスタートされるということで、退職される先生方の翌日に、子どもと同じ年のお子さんが先生になられるということで、自分もいろいろ立場を考えたり、年齢がこういう年になったんだなということをしみじみ思われました。とても頑張っほしいなという気持ちでいっぱいになりました。

4月7日、教育長と東三河教育委員代表者会議に参加をさせていただきました。その中で、卒業式の時期についてどう思うかということについて、教育委員さんの意見をおきかせくださいという場がありました。様々な意見もあり、私も様々なことを思ったのですが、中学校の卒業式は、愛知県と新潟県が入試の関係もあって卒業式の時期がとても早いものですから、私の意見としてはもう少し卒業式の時期が遅くなるといいかなということをおし上げさせていただきました。

ありがとうございました。

続きまして、金田委員よろしく申し上げます。

教育長

3月18日に総合教育会議に出席させていただきました。3月12日の定例会のときに施政方針というのをいただいたので、それをある程度頭に叩き込んで臨んだおかげで、各課長さん方が言っていた重点項目がすんなり頭に入ってきたのがとてもよかったなと思いました。全体をある程度頭に入れて、皆様方の話を聞くということが大切なんだなというのが伝わってまいりました。また、直接市長の話を聞くことができて、施政方針をうまくやって、田原市を元気にしていきたいというそんなお話と、あと、こういったことをやるために愛知県だとか国に要請をしていくということを言っておられ、それぞれの立ち位置で頑張っているんだなというのが伝わってまいりました。

総合教育会議の中で、自分が質問させてもらった学校の統廃合ですけれども、これで泉中学校と赤羽根中学校が統合して、ひと段落ということですが、その言葉を聞いたときに、1年前に、ある校区総代さんが引退する前に自分が聞いた言葉がものすごく頭によみがえってきました。その方は統廃合にもものすごく反対して、教育委員会と戦ってきた方ですが、その人が最後に言った言葉が、「自分はかたくなに統合を拒んできたけれども、これで本当に子ども達のためによかったのかな」という言葉が重くのしかかってきました。

どれだけ考えても多分、これは解決できる問題ではない。答えはない問題なのかなと思ったのですけれども、そんな中、田原市学校未来創造計画をもう一回読み返したときに、この資料はよくできているなと思いました。今後、この資料を定期的に更新して行って、古くならないようにして行ってほしいなとそのように思います。

3月19日、六連小学校の卒業式に参加させていただきました。卒業生は7名の男の子が卒業したのですけれども、本当だったら女の子が1人いて、その子は女の子1人ということで東部小学校に通っていたそうです。来賓の方が、この子たちがもう卒業するんだという言葉聞いたときに、地元の関心はかなり高い校区なのかなと思いました。

また、式に出席したのは、在校生3年生から6年生ですが、卒業式が始まる前に1、2年生がわざわざ卒業生の学生服姿を見たいということで、30分ぐらい前に集まって運動場でお別れのセレモニーをやっているのを見て、ああいうのは保育園のときからいろいろな付き合いがあるのかなと感じさせていただきました。

最後に、交通指導員の方が、30年間六連小学校で立ち続けたことで、子ども達からものすごく感謝の言葉をもらっていました。こういった陰でいろいろ子ども達を支えてくれる人がいるんだなということを感じさせていただきました。

3月25日に第2回田原市子ども・子育て会議に出席させていただきました。様々な議題があったのですけれども、やはり一番大きかったのは、保育園の適正化、民営化について様々な意見をいただきました。

園舎が老朽化しているということと、少子化が進んでいるということ、保育士の効率的配置ということですが、保育園で3歳以上の子どもが50名を切ってしまった保育園が9保育園あるということで、どこも厳しい状態なのかなということが正直な意見でした。あと、民営化した漆田保育園が、定数が160から130になってしまったということで、民営化というのは経営というものがあって、そういったものが大丈夫なのか、これから民営化を図っていくにあたって、適正に保育園を配置していかないと、新たに来てくれないのではないかと、そういったご意見をいただきました。

あと、今年の出生人数というのを聞いたのですけれども、400人を大きく下回って367人、その前の年は413人、その前は443人、その前は500人ということで、確実に減ってきていて、つい2年ぐらい前、生徒が小中学校で5,000人を切ったのです。この数字でいくとあっという間に4,000人を切ってしまうのかなという、そういうレベルでぞっとしました。

3月31日、4月1日と辞令交付式と教職員発令式に参加させてもらい、全体を見て、市役所だったり、そこで働いている職員の方にとって、とても大切な節目の日なのかなと感じました。時間を厳守しているところだとか、服装だとか姿勢、また節度ある行動を見ていて、自分自身がこの人たちの足を引っ張ってはいけないなと、そんな気持ちにさせてもらいました。

最後になりますけど、昨年度ですが、うちの隣の小学校3年生の女の子と保育園の年長さんの子が、私の家に来て、「明日学校が楽しみ」と言うので、「なんで？」と聞いたら、「タブレットがさわれるから」と言っていて、ああいった小さい子が、学校が楽しみとは何て素晴らしいことなのかなと、とてもうれしい気持ちになりました。

自分からは以上です。

ありがとうございました。

続きまして太田委員お願いします。

お願いします。

私も皆さんと同じように総合教育会議に出席いたしました。田原市総合教育大綱・田原市教育振興基本計画の5年ごとの計画改定の承認という会議だったと思いますが、形式的な形になるのではなくて、これから具体的な事業として、市民や関係機関のほうに啓発していくことが大事ではないかなというように思いました。

それから翌日の小学校の卒業式は、野田小学校へ行かせていただきました。全体としてはとても厳粛で、感動的な式でしたけれども、中学校に比べると、コロナ対策による縮小はやや少なかったかなというように思いました。時間がほぼ1時間、在校生は全員出席でした。歌も呼びかけもありました。それから来賓として校区会長、市議会議員、

教育長

太田委員

教育委員、PTA会長と一緒に出席というようなことで、マスクはしていましたが、コロナ以前の卒業式とほぼ同じような感じで行ったというのは、校長先生の卒業生に対する思いが出ていたかなというように感じました。

3月31日から4月1日の辞令関係ですが、節目の式というのはとても大事だなというように、そういう思いを持って式が行われるということを感じました。

別件ですけれども、今年、公立高校の定員割れがかなりあったということで、私も以前、中学校にずっと勤務していて、進路担当も何年か務めてきたものですから、なかなか苦しいところかなというように思います。高校もそうですし中学校も、これからこういった少子化の中で、生徒や保護者の進路希望の状況が、やや東に向けていっているということで、どのような対応をしていくかということは、以前からもありましたが、今年特にそういうことが顕著に出たものですから、現場の方々は大変に思ってみえるなということを感じました。

以上です。

ありがとうございました。

最後に天野委員、お願いします。

3月13日、泉中学校の閉校記念式典に参加させていただきました。様々な年齢の地域の皆さんがたくさんお集まりで、閉校という寂しいイメージの中でしたが、同窓生たちの方々がいろいろな思いを持ち寄りまして、懐かしい、温かい式典になっていました。式典の最後のほうに、校歌の斉唱があったのですが、同窓生でいらっしゃいます伊藤敬子先生と伊藤悦子先生の姉妹での指揮と伴奏で、校歌を斉唱されていらっしゃいまして、先生から歌詞の説明や、歌い方のアドバイスなどもあり、同窓生の皆さんも思いを込めて歌われていらっしゃいまして感動いたしました。

先ほど金田委員がおっしゃったのですが、これで学校未来創造計画での最後の統廃合だったのですが、以前、このお仕事をいただく前のPTA時代に、計画策定の委員として検討会議に出させていただいたことがございまして、立場は変わったのですが、一応締めの一段落の式典にまで出させていただきました、ありがたいなと思いました。

3月18日の総合教育会議、ふるさとに学び人が輝く田原の人づくりということで、各部門の皆様、最終案の改定や策定お疲れ様でございました。今後の具体的な計画や予定なども伺いまして、大変参考になりました。

3月19日の小学校の卒業式は、泉小学校に伺いました。ちょうど正門のところの桜が数輪咲いているとても穏やかな日でした。男子11名、女子10名、合計21名の卒業生がいらっしゃいまして、今頃、元気に赤

教育長

天野委員

羽根中学生のほうに通ってくださっていると思います。

校長室でお話を伺ったときに、校長先生も同行してのスクールバスの乗り方の練習をしましたということを教えていただきました。

卒業式自体は、舞台のひな壇の席から、卒業証書の授与のときにマスクをまず席で外して、順番に降りていらっしゃるのですけれども、名前を呼ばれたら返事はせずに無言で右手を挙げて、校長先生の前に行って卒業証書をもらうスタイルで、コロナ対策のほうは図られていたと思います。

3月31日、4月1日の毎年のこの春の行事に参加させていただくにあたり、新任の先生方の辞令交付のときには、何ともしがすがしい気持ちにならせていただきます。背筋がピンと伸びていて、こちらが自己紹介のときも、きちんとこちらを向いてくださり、聞く姿勢がすばらしく、こちらも身が引き締まる思いがいたします。ご活躍を期待したいと思います。

以上です。

ありがとうございました。

次に、報告事項（2）令和3年度教育方針について、事務局から報告をお願いします

教育長

令和3年度の教育方針について説明をさせていただきます。資料をご覧ください。

教育部長

私のほうが全体的なお話をした後、各課から詳細について説明いたします。

令和3年度教育方針「未来にふみ出すふるさと教育」、ふるさと教育の理念の継承と進化、新しい生活様式への対応や田原市D X・ゼロカーボン推進ということを決めさせていただきました。

本年度、未来にふみ出すふるさと教育ということで、田原市の教育の大切な理念として、「ふるさと教育」というのは揺るぎないものがございます。田原市総合教育大綱・田原市教育振興計画が改定され、今後スタートするにあたって、担当のほうで「ふるさと教育」と自分のやっている仕事が、どのように結びついているのかというのが、まだ落とし込まれていないということがありますので、落とし込みを含めて未来に踏み出していきましょうということでございます。その中で、これまでやってきた「ふるさと教育」を継承して、さらに進化していきましょうということでございます。

そして、新しい生活様式への対応、田原市D X・ゼロカーボン推進ということは、もう既に新型コロナウイルス感染症対策のほうで新しい生活様式はスタートしておりますが、今後もやっていけないということもございます。そして、新しい社会の動きとして、田原市全体でデジタル化の推進、これはG I G Aスクールもそのひとつに入ると思います。そして、ゼロカーボン推進ということで、C O<sub>2</sub>

教育総務課長

を出さない事業、普段の生活の中でそういうことを心がけ、この2つは我々が仕事をやっていく前提として捉えながら、今後進めていくという考え方でこの教育方針を立てさせていただきました。

私のほうの総括的な話は以上で、それぞれの課で説明していただきますが、最後に教育長さんのほうから補足ということでお願いできたらと思います。

それでは各課からお願いします。

それでは教育総務課ですよろしく願いいたします。

私のほうからは、方針でございます「未来にふみ出すふるさと教育」を達成するために、「良好な教育環境づくり」、これをテーマに掲げて以下3つの項目について重点的に進めて参りたいと思っております。

「良好な」という意味には、安全であったり、安全の中にも交通安全や、新型コロナウイルス感染症の様な公衆衛生の関係といったことが含まれていたり、あるいは快適であったり、そういった意味を含めて良好な教育環境づくりというようなテーマを掲げさせていただいております。

主な3つの項目につきまして、1点目、田原市総合教育大綱・教育振興計画等の着実な推進。これにつきましては、昨年度策定されました大綱・計画について、そこに掲げる各種政策や事業をしっかりと進めて適切な進行管理を図ってまいりたいと思っております。

2点目、小中学校施設の長寿命化と施設の計画的な整備改修の実施につきましては、学校未来創造計画に基づき、まず長寿命化計画をしっかりと進めてまいりたいと思っております。ちなみに、今年度については、福江小学校の体育館、中部小学校西校舎の改修を予定しております。小中学校の遊具につきましても安全対策を施して改修する計画を持っております。

また、福江小学校を来年度改修するために、今年度改修のための設計を予定しております。以降、今後も計画的に長寿命化改修等を進めてまいりたいと思っております。

最後3点目、学校プールの在り方の検討と効率的なスクールバスの運用ということで、学校プールの在り方につきましては、しっかりと進めていきたいと思っているということと、併せてスクールバス、現在9台で運用しております。これをいかに合理的に運用するかというのをしっかりと考えてまいりたいと思っております。

教育総務課からは以上でございます。

続いて、学校教育課になります。

テーマは、「ふるさと田原の学校で子どもがきらり輝く学校教育の充実」ということで、田原市学校教育振興計画が、「ふるさと田原の学校できらり子ども輝く」というテーマでありますので、それに基づいてこのようなテーマを掲げさせていただいております。

学校教育課長

主な重点項目として3点示してありますが、これも学校教育振興計画の6つの柱の中の大きく3つを今年選んであります。

まず、1点目につきましては、「ふるさと学習」の充実と地域連携コミュニティスクールの推進ということで、これまでも各学校で独自のふるさと学習に取り組んできていますが、長年やっている関係で、それが形式的なものになってしまっている部分もあるのかもしれないということで、新たに、このふるさと学習を見直し、さらなる充実を図るということをやっていきたいと思います。

コミュニティスクールにつきましては、福江中学校が既に行っておりますが、ほかの学校についてもコミュニティスクールを行いたいという学校があるものですから、それを増やしていくことを目標としております。

2点目ですが、先ほど金田委員さんからも出ましたが、1人1台タブレットが全校に配付されております。タブレット端末をただ使えばいいのではなく、こういったタブレット端末を、いろいろな場面で活用しながら、教育に生かすという情報教育を進めていきたいということと、それと同時に、情報モラル教育も進めていけたらと思っております。

3点目ですが、これは昨年度同様になりますが、子ども一人一人に寄り添った人的支援と教職員の多忙化解消に向けた支援の充実ということで、1学級35人学級になりつつあるわけですけれども、まだまだ一人一人に目が行き届きにくい部分もあるものですから、学びのみかたですとか、学習指導員等など、一人一人に寄り添ったことができることと、後は多忙化解消についても、在校時間や、部活動の今後についても見直ししながら、さらに多忙化解消に目を向けていけたらと思っておりますこの3点目の重点項目としております。

学校教育課からは以上です。

生涯学習課です。

生涯学習課のテーマとしては、「未来につなぐ生涯学習の充実」ということで、それぞれ3つの目標を立てております。

1点目、ふるさとの歴史・文化・産業を通じた学びの推進ということで、本市の特徴的な歴史・文化・産業等の良いところを題材とした学びを推進していきたいと思ひまして、このようにひとつ設けさせていただきました。

2点目、ふるさと教育センターを核としたふるさと学習の充実ということで、郷土関係資料等を収集整理して、学校等で行うふるさと教育の教材の提供の充実を今後もしっかり図っていききたいという意図でこのように目標を立てさせていただきました。

3点目、学びを支える環境の充実。こちらは昨年度ご報告させていただきました社会教育施設個別計画に基づいた長寿命化、複合化を基

スポーツ課長

本とした計画的な整備・改修を行い、コストの平準化に努めるとともに、学ぶ環境もしっかりと充実させていきたいという思いで定めさせていただいているところでございます。

以上です。

続きましてスポーツ課でございます。

スポーツ課につきましては、「スポーツの力で地域との絆づくり」というテーマにさせていただきました。

その中の3つの柱ですけれども、1点目「スポーツ大好き田原」。これは昨年と同様です。昨年は、スポーツに親しむ充実というところで止まっておりましたけれども、今年はそれに合わせて、具体的にスポーツ人口の拡大というのもつけ加えさせていただきました。

2点目、「ふるさと田原」を体感できるスポーツイベントの開催というところで昨年は止まっていたものを、今年のテーマと教育方針と合わせまして、「継承」というものをつけ加えさせていただきました。

3点目、各種スポーツ全国大会開催への取組というのが昨年の項目でしたが、今回は開催に合わせて、「おもてなし」というものをつけ加えさせていただきました。

令和3年度は継承と進化というものをつけ加えた形で、スポーツ課としては、この3つを柱にさせていただきます。

以上です。

文化財課長

続けて、文化財課になりますよろしく申し上げます。

文化財課のテーマといたしまして、「守り伝え、感じる ふるさとの文化財の継承」とさせていただきますいております。

まず、文化財保護の大重点であります「守って伝えていく」ということは当然ですが、それを一般の方々も含めて感じていただくところにも、重きをおいていきたいということがありますので、「感じる」ということを入れさせていただきます、ふるさとの文化財を継承していくということにさせていただきますいております。

大きな項目3点挙げさせていただきますいております。

1点目、ふるさとの文化財の研究調査・整理の充実ということで、昨年度も、研究調査の充実ということは入れさせていただきましたのですが、やはり研究調査をするだけではなくて、それをさらに整理をして公開をしていくというのが大事なことで、整理という言葉を追加させていただいたということになります。

2点目、博物館資料の展示を通じた公開と活用の推進。これにつきましては、継続をしていくわけですが、効果的な事業の実施を博物館で模索をしており、ふるさと教育に付随するような常設展示をしておりますので、そういった効果的な事業を実施するために、これは継続的に行っていくというようにして挙げさせていただきましたものになります。

図書館長

3点目、これは新たにつけ加えさせていただいたのですが、今年度重点的に行っていきたいと考えていることでありまして、文化財を活用した学校・地域との連携の充実強化ということでもあります。こちらのほうも、博物館、文化財を利用・活用して、いろいろな事業を今年度取り組んでいきたいというように考えています。学校や地域の皆さんとかかわりを持ってやっていきたいということで、こういったことを挙げさせていただいております。

以上です。

続きまして図書館です。

図書館は、「生涯読書の振興とふるさとに関する情報の編集と発信」をテーマとしています。

教育大綱をはじめとする、計画類の5年間の1年目のスタートという節目の年ですので、原点に立ち戻りまして、1点目は、図書館の最も重要な、乳幼児から高齢者、障害のある人、全ての人が生涯にわたって読書を楽しめる環境の整備をしっかりとやっていきたいと考えております。

2点目は、田原に関する歴史・文化資源のデジタルアーカイブ化の推進ということで、今年度は新しい事業としまして、古い新聞のマイクロフィルムのデジタル化というのに取り組む予定になっております。そういったものも含めて、ふるさと教育に役立つようなコンテンツをつくって公開していきたいと考えております。

3点目は、サービス向上のための市民協働の推進及び雑誌スポンサー制度の拡充ということで、昨年度から試行的に開始した雑誌スポンサー制度ですけれども、今年度からいよいよ本格的に取り組んでおりまして、少しずつスポンサーの方も増えております。資金面だけでなく、多くのボランティアさんなど、図書館を支えてくださっている方々と共に、成長や発展を喜びあえるようなところを目指してやっていきたいと考えております。

以上です。

教育長

最後に私のほうからお願いします。

「未来に踏み出すふるさと教育」ということで、今年度は、一度リセットをしてスタートをする年かなということを考えております。教育大綱が改定されて、新たにスタートする1年であるということと、それから各課とも様々な課題を実は多く抱えてございます。今、克服しなければならないものをたくさん抱える中で、前に向かって踏み出していく、そんな最中でございます。

現在、昨年から続くコロナ禍の状況ということもありまして、非常に閉塞感がある中での状況ではあるのですが、ただ、教育委員会の業務としては、今ここで、ただ止まっているということではなくて、未来に向かって前に進んでいくようなものでありたいと思います。

子ども達だけでなく、大人も含めて、人づくりの活動というのは、未来に向けて進んでいくべきものであると考えております。そういった思いを含めて、「未来に踏み出す」というような文言にさせていただきました。

「ふるさと教育」につきましては、狭い意味の本当に地域のことを学ぶということ、それももちろん含んでおりますが、もっと広く考えて、ふるさと田原をフィールドに、様々な活動を行う中で、子どもも大人も、豊かな心を持ってほしいなと思っております。子ども達にとっては、学びがそのまま、ふるさと教育ということになってくると思うのですが、大人の人たちからすると、あまり狭い意味に捉えると、なかなかふるさと教育というのが定義しにくくなると思うものですから、地域の中でのつながりであったりとか、心の交流であったりとか、そのようなことも広い意味でのふるさと教育というように私は捉えています。

それぞれの課で計画してくれていることを進めていくことが、そういったふるさと教育の推進につながるのかなというように考えております。

私のほうからは以上でございます。

教育部長

1年間、教育委員会は、このような方針で頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

教育長

説明は以上であります。何かご質問等はございますでしょうか。

それでは、次に報告事項（3）教育委員会令和2年度共催・後援事業について、事務局から報告をお願いします。

生涯学習課長

資料をご覧ください。

まずは、生涯学習課での共催・後援事業について報告いたします。昨年度は共催が7件、後援が48件の合計55件の共催・後援の事業が行われました。

この外、共催・後援等もしていたのですが、新型コロナウイルス感染症の関係で中止になったものがたくさんございます。

昨年度は、何とかコロナ対策をしっかりとやっていただいて、人数を絞ったり、規模を縮小したりして、何とか皆さん協力して、知恵を絞って、いろいろな方法でやっていただいたというような恰好でございました。

今年度につきましても、こうしてやりたいというような相談につきましては、なるべくできる方向で、こうしたらどうか、というようなことは伝えていきたいなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

スポーツ課長

続きまして、スポーツ課でございます。

スポーツ課のほうは、62件の共催と後援でございます。

この中でも、中止や延期をしたというものが、全て行われたというわけではありません。

平成31年の1月から12月までの取りまとめでいきますと、おおむね160件ぐらいの共催・後援が出ています。ご覧のとおり、今年の62件というのは、やはり新型コロナウイルス感染症の影響によって、昨年に比べますと、2.5倍ぐらいは少なくなっております。

以上でございます。

事務局の説明が終わりました。

何かご質問等ございますでしょうか。

いいでしょうか。

それではご質問もないようですので、次に報告事項（4）令和3年度の主なイベントについて、事務局から報告をお願いします。

令和3年度の行事等の予定表をご覧ください。

こちらは、1年間の田原市の主な行事となっております。その中で、黄色の帯がついているものが、教育委員会関係の行事になっています。さらに、太字で表記のものは、教育委員さんにも出席をお願いするような行事でございますのでよろしくをお願いします。

その中で7月16日、三遠南信教育サミット in 田原。こちらのほうは、三遠南信ということで東三河と静岡県遠州地方、長野県の南信州の3地域で行われている、教育活動についての情報交換を行うものでございます。教育長と教育委員皆さんに参加をお願いしているところです。本来であれば、昨年度開催予定でございましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で延びたというものです。

現在のところ決まっているのが、7月16日金曜日に会場は華山会館で開催を予定してございます。時間等の詳細は今後決めていきます。そして、交流会が本来であれば行われるところでございますが、新型コロナウイルス感染症の関係で、中止ということをお願いしたいなというように思います。

あとは、例年と同じような形でいろいろな行事がございますので、よろしくをお願いします。また新たに追加されるような行事もあると思いますので、よろしくお願いいたします。

ただいま事務局の説明がありました。令和3年度の主なイベントについて、ご質問等ございますでしょうか。

ご質問もないようですので、以上で報告事項を終わります。

その他、事務局から何かございますか。

それでは、教育委員会出席予定案についてということで、次回の第5回定例会を5月14日水曜日の1時半からこの場所で行いたいと思っています。ご都合のほうはどうでしょうかということが1点と、そのときに、伊良湖岬小学校の新校舎の建屋のほうが完成をいたしましたので、定例会終了後、現地を皆さんに見ていただければなと思い、提案をさせていただきました。

教育長

以上よろしく願いいたします。

次に、三遠ネオフェニックスの田原市DAYについてお願いいたします。

スポーツ課長

皆さん方にチラシのほうを配付させていただきました。

4月24日に、三遠ネオフェニックスと大阪エヴェッサとの試合が田原市民は300名の無料招待ということで今申込みが始まっております。

このときには、田原市のブースも設けまして、サーフィンのPRと花のPRもさせていただきます。まだ、申し込みますので、ぜひ申し込んでいただき、家族等で見ていただけるといいかなと思います。

以上となります。

教育長

何かご質問ございますか。

教育長

そのほかいかがでしょうか。

委員の皆様の方から何かございますでしょうか。

特にないようですので、以上で本日の議事は全て終了いたしました。

ご協力ありがとうございました。

これをもちまして田原市第4回定例会を閉会させていただきます。

閉 会 午後3時32分

(会議録署名人)

教育長

委員

委員